

クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2023年1月18日

【円建て】ユーラシアオンライン金融事業者ファンド9~25号 【ロシアルーブル建て】ユーラシアオンライン金融事業者ファンド9~28号 【ユーロ建て】ユーラシアオンライン金融事業者ファンド1号~3号 の運用状況につきまして (2023年1月期)

投資家のみなさまにおかれましては、平素より格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

掲題のファンドシリーズ各号（以下、「本ファンドシリーズ」といいます。）につきまして運用状況をご報告申し上げます。

【本レポートの要旨】

<本ファンドシリーズの現状>

ロシア・ウクライナ間の戦争が長期化するなか、特にロシア政府およびロシア中央銀行による送金規制の影響で、本レポート配信の時点では返済開始時期の見通しは立っていません。

<LIME 社グループの状況>

本ファンドシリーズの貸付先である LIME 社グループ（後述）は、2022年2月当初の想定よりもロシアのマクロ経済環境の悪化が深刻でなかったことから、徐々に個人向けの融資の実行額を回復させ事業を継続しています。一方で、今後の戦局や経済制裁の内容次第では、仮に送金規制が解除される場合でも、一定の回収不能額が生じる可能性がございます。

<送金ルートの確保について>

本営業者は代替の返済手段として、①LIME 社グループの新カザフスタン法人を経由した送金、②ロシア中央銀行の特例承認を得たうえでの送金の2つを主な選択肢として検討を進めております。

1. 出資対象事業の概要

ご投資いただいた出資金の用途

(i) 本ファンドにおいてクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下「本営業者」といいます。）は、お客様にご投資いただいた出資金をクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社（Crowdcredit Estonia OÜ。以下「エストニアグループ会社」といいます。）に対して貸付けを行いました。

(ii) エストニアグループ会社はこの借入金を原資として、キプロス共和国に籍を置く金融事業者である LIME CREDIT GROUP LIMITED (以下「LIME 社」といいます。)へ貸付けを行いました。

(iii) LIME 社への貸付けに対しては、LIME 社グループの中核企業である MICROFINANCE COMPANY “LIME-ZAIM” (LIMITED LIABILITY COMPANY)社 (以下「LIME Russia 社」といいます。)が債務保証を行っています。

2. LIME 社グループの現状

(1) 事業活動地域

LIME 社グループはロシア、南アフリカおよびメキシコで個人向けの短期ローンを取扱う金融事業者グループで、ロシア事業がグループ収益の大半を占めます。

(2) LIME 社グループを取り巻く状況

グループ収益の大半を占める LIME Russia 社は、ロシアによるウクライナ侵攻直後は個人向けの融資実行の大幅な絞り込み、事業拡大を前提としていた経営計画の見直しなどに着手していました。ウクライナ侵攻から約1年が経過した現時点においては、当初想定したほどロシアのマクロ経済環境の悪化が深刻でなかったことから、徐々に事業運営を正常化しています。

また資金調達については、エストニアグループ会社をはじめロシア国外の債権者からの融資がすべて停止されていますが、代替手段としてロシア国内の銀行借入れなどを確保し事業運営資金に充当しています。

(3) LIME 社グループの為替リスクの状況

LIME 社グループは、本ファンドシリーズをはじめ一定の外貨建て債務を抱える一方、収益の大半をロシアルーブル建てで計上しています。現時点ではロシアルーブルの対ユーロ、対円などのレートがロシアによるウクライナ侵攻直前よりも高い水準にありますが、今後ロシアルーブルが下落に転じる場合、外貨建て債務の実質的な返済負担額が増し債務返済能力が低下する可能性がございます。

(4) LIME 社グループの今後について本営業者の見解

2022年第3四半期の財務諸表を受領した時点においては、ウクライナ侵攻直後に想定したほどロシアのマクロ経済環境と LIME 社グループの財務内容が悪化しておらず、侵攻前と同様の規模で事業運営を継続すると見込んでいます。また、ロシア国内での資金調達によって当面の資金繰りに関する懸念も後退したと捉えております。

しかし、ウクライナの戦局や日米欧をはじめとする各国の対ロシア経済制裁の動向が流動的ななかで、LIME 社グループの事業環境が悪化に転じる場合やロシアルーブルの対ユーロ、対円でのレートが下落に転じる場合には、一定の回収不能額が生じる可能性があると考えております。

3. 送金規制の影響および代替手段について

(1) ロシア国内の送金規制の状況

ロシア・ウクライナ間の戦争が長期化するなか、SWIFT からの排除をはじめとする各国のロシアに対する制裁措置や、ロシア政府およびロシア中央銀行による送金規制の影響が続いており、ロシアからの海外送金は依然、広範に規制されています。一般的には月額 1,000 万ロシアルーブル(日本円で 1,800 万円相当額※)以内であれば海外送金が認められるとの報道もありますが、実際には個別の取引次第になっていると見られ、特にロシアの非友好国に向けての送金は厳しく規制されています。ただし、本項(2)に後述のとおり、ロシアの非友好国向けでなければ海外送金のハードルが下がる可能性があることや、所定の申請プロセスを経れば非友好国向けであっても海外送金が特例的に承認される可能性があることから、本営業者はこれらの方法を検討しています。

※ロシアによるウクライナ侵攻後、ロシアルーブルの相場は大きく変動しており、1 ロシアルーブル=1.80 円で仮置きしたレートを元に計算しています。

(2) 送金規制を踏まえた代替のルートについて

本営業者は、代替の送金ルートとして現時点で下記の 2 点を検討しております。

1 点目は、ロシアの非友好国に指定されていないカザフスタンを通じた送金です。LIME 社グループは新たにカザフスタン法人を設立し、現在はロシアルーブルを受け取れる銀行口座を準備しているとの連絡を受けております。口座開設が完了し、ロシアおよびカザフスタン両国で海外送金の承認プロセスが完了次第、月額 1,000 万ロシアルーブルの範囲内で返済を再開するよう協議を続けております。2 点目は、ロシア中央銀行から海外送金について特例的に承認を得たうえで送金するものです。本営業者は、ロシアの弁護士事務所を起用して特例承認プロセスを進めることも同時に検討しております。

4. 今後の返済見通し

本レポートの配信時点においても、融資金の返済のための送金経路の確保が困難なことから、返済開始時期は不透明な状況です。なお、送金規制の解除や代替案の実行によって回収が可能となる場合でも、LIME 社グループの事業環境次第では、一定の回収不能額が生じる可能性がございます。

本営業者は 3 か月に一回程度を目安に本ファンドシリーズの最新状況をご報告申し上げる予定です。ただし、本営業者の判断で、3 か月を待たずに速やかにご報告する場合がございます。

投資家のみなさまにおかれましては、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

会社概要 (クラウドクレジット・ファンディング合同会社)

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016 年 3 月

【資本金】 1,000,000 円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目 8 番 1 号